

キーワードをつなげるには、流れを作った方がいいですよね？

未だに将来の夢が見つからないのですが、どうすればいいでしょうか？

この大学はかなり生徒の学力を意識していますが、他の大学は本当に学生の学力の低下に改善をしているのか少し疑問に思った。

図の答えの様なものが欲しい。どのような練習や勉強をすれば良いのか？

図解の欠点は何ですか？

図解は元の意見を拡張してしまってもいいのですか？

大学生の学力が低下しているのは事実なので、文章を書くカリキュラムを大学側で取り入れれば国語力低下に歯止めがかかると思う。

先生が実際に授業で図解を書いて欲しい。

丸、四角、矢印の使い方が良く分からない。

講義に集中できないので写真をやめてほしい。

人によって図解が違いすぎたら良くないのではないですか？
クーラーが効きすぎて寒かったです。

自分の考えを、図解にするのは大変すばらしいと思う。しかし、なぜ、他人の文章に書いてある以上のものを、読み取る必要があるのか分からなかった。

難しいと思うので、もっとゆっくりがいいです。

図解を書くことで国語力が向上するのではないのでしょうか。

自分が伸びているのか分かりません。

最初に頭の中で創造してから図を書くとき最後にきれいになると思う。

先生は講義するとき、社会人には何を求めて、学生には何を求めていますか？

図を書くときに絶対にやってはいけないというルールはありますか？

図に書くとき、キーワードになる言葉が長すぎて、自分の言葉で書き換えてもいいのですか？

図には自分の考えを取り込んだ方がよい図になるのですか？

空調管理をしてほしい。

以前、先生がおっしゃっていた「箇条書きに騙されるな」という言葉を完全に忘れていました。

他の人の図の発表などするのはいいことだと思った。

人の発表を聞いて、キーワードに気付かされた。

この論壇は、学生が悪いという印象を受けるが、ゆとり教育は大人たちが決めたことなので、大人にも責任があると感じた。私にも国語教育をしなけなければならないと思った。

3人の発表が分かりやすく、すごかったです。

日本語は大切だと思った。

論壇の記事自体も論理的ではないのが、納得できた気がする。

自分も含め言語能力が低下していると感じている。自分なりの解決法を発見したいと思う。

同じ文章だが、読み取り方、問題の取り上げ方、目の付け所が一致していないのが面白い。

今日は発表や先生の図を見る機会があり、自分以外の人の図を多く見ることは学ぶことが多いと思った。

「自分なりに」とは、自分の考察と文章が伝えたいことの両方を書くのかということを知れた。

他の人の図を見ることは、とても勉強になると感じた。

いくら先生が注意しても、うるさい授業がある中、この授業はしっかりとした雰囲気が出ていて良いと思った。

論理的に考える事の大切さを改めて思い知らされました。

発表を聞いて自分の図との違いにびっくりした。しかし、新しい発見をした。

論壇の記事は、改善策があげられていません。

自分は筆者の主張をまとめることしか考えなかったが、描かれていない自分の意見を中心にした図などは面白かった。箇条書きは、短くまとめるときには有用だし悪いとは思わなかった。しかし、結論はたしかに見えなかった。

発表してくれた人の図解が、キレイで分かりやすかった。どうやったらできるのかが不思議に思った。まずは大元のキーワードを決める所が重要なのかと感じた。

論壇の最後は先生も指摘されていましたが、作文教育と文章教育の違いが理解できませんでした。

パソコンを使って図を書くのが楽しみです。

うまくできた図を見てうれしかった。

「作文教育と文章教育のちがいでいいについて言っていない」とのことだったが、こんなに長々と要因を話してきて、こんな少しの結論でいいのか？と思った。

できる人の図解を見ると、良い参考になる。是非次も発表してほしい。論壇について、作文教育から文章教育にしたところで、電子文化は進み、本や新聞離れが進み、根本的な改善にはならないと思う。

発表者は、しっかりと文章から大事なことを読み取っていて良かったと思います。時代が時代だけに、国語力が低下しても仕方ないようになってきていると思います。

新聞を読むなどして文章能力をつけていくべきだと思った。

2回目の図はスラスラ書けた。発表した人たちは筆者が特に言いたかったことを自分でピックアップして図を分かりやすく書いていたので学ぶべきことがたくさんあった。

図にするものすごく分かりやすい。書く時間があったという間だった。論壇は理想論を語っているだけでその根拠や具体的な方法が全く判らないと思った。

図をパワーポイントでできるようになったら非常に役立つと思う。

記事からキーワードをぬきだし図にしてみると、重要なポイントがわかった。

図解のタブーである箇条書きを無意識に使ってしまった事が非常に残念です。論壇の結論は、ゆとり教育の危険性にすればよかったのでは？

クオリティの高い図解を書く人がいて驚いた。今度先生のいつもの朝の台詞をツイートしたいと思う。

先生を解説するときには、自然と矢印などの記号がどんどんつながっていくので心地良いです。

先生の見聞を聞いたりすると、「こういう表し方や考え方もあるのだな」と新しい知識が身につきました。

文章を解説するときには、自然と矢印などの記号がどんどんつながっていくので心地良いです。

図は描き直すことも大切なんですね。

図にする、どうしても箇条書きになってしまうので気をつけようと思った。

記事は古いが今も通用する問題である。

発表者は、的確な説明と問題意識を持っていたので、分かりやすかった。

図をうまくまとめられれば、どんな企業に入ってもできる人材としてやっていけると思った。

図は個性が出ると言っていた意味がわかって面白かった。

良い図ができたが、説明がまだまだなので、発表した人達のを参考にしたい。

先生の言っていることが分かってスッキリした。初めてなるほど！図って分かりやすいなと思った。

「頭の良い人の文章も図解にすると反論できる。」という言葉はとても心に残りました。

私は経営情報学部なのですが、必修ではないマネジメントデザイン論を履修して良かったです。

図に表すと文章の欠点がよく分かり、人それぞれ個性のある図ができあがっていて面白い。

見やすく文章のないようにできるだけ大雑把に書いてみました。

2回目書いたら意外な発見がありました。図解はやはり量ですね！